

” WUSVシンポジウム” SVJによる日本S犬界の新たな歩み

シンポジウム&パーティーには100人を超す関係者が参加！

第一幕 ショッキングな事実。WUSV会員がなすべきこと。



2月22日(土)午後3時からダイヤモンド滋賀ホテル大宴会場において、SVJ主催のWUSVシンポジウムが開催された。開始早々、SVJ益田事務局長がショッキングな事実を公開「皆さんここ数年のS犬界のただならぬ騒ぎを、誰かと誰かの単なる喧嘩だと思いませんか？実は今の状況は10年以上も前から取り組んできたことなんです」会場の一同は理解できない様子。続けて益田氏は「これは私が10年前にヘンケ会長に個人的に出した手紙です。ヘンケ会長の前のメシュラー会長にもヘルマン・マーチン会長にも渡しました」と言って取り出した手紙を読み始める。その内容は、日本ではWUSVにJSVとPD、二つの団体が加盟しているが、お互いに血統書を認め合わない。SVの選定試験を認めていない。お互いに日本独自の訓練試験でありSchH(現在のIPO)試験を行っていない。等々、有名な2005年問題よりも以前から、日本の協会はWUSV加盟団体として、本来果たすべきことを行なっていなかった証拠だとして公表された。その後は、SVJとSVが連携して行なっていく事業について、益田氏とSVJ所属コンピュータープログラマーの田中氏がプレゼンを展開、パソコンとスクリーンを使用してわかり易く説明した。WUSVルックス事務総長がドイツから持参した、SV血統書発行のための20ページにも及ぶ日本専用の申請マニュアルも紹介された。

●主なSVJ事業の発表と内容

血統書・・・(SVJの血統登録システムの説明。データ構築→SVJ血統証明書発行→将来的にはSV血統書発行)

DNA・・・(毛、唾液、血液を外国に郵送するには輸出検査が必要だが、SVのDNAキットは認定された特許品なので輸出検査無しでドイツに郵送できる。DNA検査コストは日本よりも低価で判定精度は2倍以上)

マイクロチップ(イェズミはドイツではすでに廃止されており、代わるIDとして世界基準となっているマイクロチップの普及とコスト減の取り組み)

訓練試験・・・(日本独自の訓練資格ではなく、すべて国際規定に基づいて行なう。ただし段階的に)

展覧会・・・(日本独自の展覧会規定ではなく、WUSV加盟団体としてSV規定に従って開催する。ただし段階的に)

種犬認定・・・(SV/WUSVの認定を認める。日本の認定制度は廃止する。今後は繁殖を行なうための最低限の選定として、最低一回若犬クラス以上で最低G評価を獲得しなければならない。ただし移行期間を設けて)

第二幕 ヘンケ会長憤慨。新しい血統管理。VAとは。



休憩を挟み、シンポジウムの後半はセッティングが一新され、ヘンケ会長、ルックス事務総長、来賓の韓国KKC申会長、今年のSVジージャー展で若犬社組を担当するフェッテン審査員、山田哲也SVJ繁殖部長が論者として壇上に着席して、益田事務局長の司会進行で開始された。

●WUSVヘンケ会長、WUSVルックス事務総長の論説(論説は要点のみ、Q&Aは敬称略)

ヘンケ会長「S犬の歴史を見た場合、アジアにおいては日本がリーダーシップをとらなければなりません。WUSVはそれぞれの国の問題解決のために助け合います。全世界45万人のWUSV会員の代表として、2005年から観察してきた日本の問題を解決するために来日しました。初来日したとき、日本では成犬クラスで内産と外産を別々に審査したり、VAを単なる一つの評価として多くの犬に与えていることにとっても驚きました。今回の来日に対して、JSV平田会長は様々な妨害行為をしてきました(JSV平田会長署名入りのWUSV批判メールをドイツ語と英語で世界中に配信。ホスト協会(SVJ)を通さずに直接、一方的に日時と場所を指定した日本滞在中の面会申込み。SVJジージャー展の出陳者に対して出陳をキャンセルさせるために圧力をかける「実際このことにより締切り後に11頭がキャンセル」等々)。このことは、私のWUSV/SV会長としての12年間の中で最も憤慨した行為です。新協会SVJ発足に関して隣国の韓国や中国も応援していることは喜ばしいことです。SVJの立ち上げに尽力された山田理事長とドイツとのパイプ役を務めている益田氏に敬意を表します」

ルックス事務総長「日本はドイツシェパード犬の長い歴史がありますが、今、新しい血統管理の再構築が必要です。というのは、その長い歴史の中で間違った血統管理が行なわれた結果、ドイツシェパード犬の質が低下しているからです。いつの時代も新しい物事の始まりに際しては、ほんの数人の勇者が手がけます。そして強いリーダーシップを持ったブレない人物でなければなりません。血統書が商売として利用されるのではなく、これからは正しい血統管理が始まります。この会場には私の永年来の犬友も沢山います。今まで日本の協会が行なってきた“愛犬家ががっかりすることばかり”を終わりにすべく、力を合わせて頑張りましょう」

韓国KKC申会長「SVJの発足によって30年前40年前のドイツシェパード犬黄金期が再び訪れることを願っております」

フェッテンSV審査員「初めての来日ですが皆様の暖かいおもてなしに感激しております。今回のSVJジージャー展に審査員として招聘して下さった、山田理事長に感謝いたします。明日の展覧会はWUSVのルールに則った審査です。想像しなかった悪い評価となるかもしれませんが、SV審査員としての使命ですので御理解ください」

山田哲也繁殖部長「WUSV/SVのルールに則ったドイツシェパード犬の統一的な繁殖と育成の役目を担う、新しい協会SVJの繁殖管理部長として尽力いたします。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします」

質問：岸 建旨「将来、ドイツSVジージャー展でVAを獲得するのが私の夢です。SVJの登録システムでの血統書を保有する日本産犬がSVジージャー展でVAを獲得することは可能ですか？」

答え：ヘンケ「今すぐというわけにはいきませんが、というのはSVJあるいはSVの血統書発行までには時間が必要です。しかし、その血統書でSVジージャー展に出陳することは可能ですので、将来はぜひチャレンジしてください。VA評価に関してですが、今年のニルンベルクのSVジージャー展からは、犬体と様々な条件はVA評価に値するが成犬になったばかりなので、繁殖実績(ナッハコメン)を示せないことが理由でVAになれな

い犬に対して、VAとVの間評価フォア・アウスレーゼ（VAの手前）という評価が新設されます」

答え：ルックス「そもそもVAという評価が軽んじられています。立たせて走るだけで与えられるものではないのです。VA評価というのはいくつものハードルをクリアして、なおかつ本部展で子孫グループを展示して、原産国SVの認める審査員のみがVAを与えることができるのです」

質問：須山光央「WUSV加盟協会がWUSVに納める年会費の算出方法を教えてください。我々はとても高いと聞かされています」

答え：ルックス「基本年会費300ユーロ+その協会の会員一人に対して25セント（2014年からは500ユーロ/30セント）」

質問：名倉克己「日本の二つのWUSV加盟協会は現在、JSVが会員権停止、PDはWUSVからの脱会を検討していますが、もし、この二団体が除名や脱会となった場合（既存の）血統書はどうなるのでしょうか？さらにFCIとの関係はどうなるのでしょうか、原産国のドイツSVが認めない血統書は日本のFCI加盟団体JKCも認めないという事態になりませんか？」

答え：ルックス「そうなった場合はSVJが処理します。起こりうる様々な問題をすべてオープンにして、SVJを通して解決することが一番望ましいことです」

シンポジウムの最後に益田事務局長から、WUSV日本支部（3月1日からはWUSVジャパンオフィス）とSVJに関して、WUSVジャパンオフィスはWUSV/SVに正式登録されている山田幸雄氏の個人事務所。SVJは山田幸雄氏が理事長を務める一般社団法人である。と説明され、山田幸雄氏が両方の代表であることに関して、法律上もWUSVとSVからも全く問題ないとの回答を得ていると報告された。

第三幕 SVJ発足記念パーティー

●これまで経験したことのない楽しいパーティーだったとヘンケ会長が絶賛！



WUSVルックス事務総長の乾杯で始まったパーティー



次の世代の若い人たちが一番大切と気さくに記念撮影



口笛日本一、英語歌手、和風ポップグループなど記念パーティーは大賑わい



一般社団法人 SVJ 設立のご挨拶

愛犬家の皆様へ

準備を進めておりました一般社団法人SVJ（ドイツシェパード犬協会ジャパン）を京都地方法務局での登記を経て平成26年2月19日付にて設立いたしましたのでご報告申し上げます

世界ドイツシェパード犬連盟（WUSV）より日本での全権行使を委託された団体として積極的な事業活動を行い日本におけるドイツシェパード犬の健全な発展に貢献してまいります所存でございます

平成26年3月吉日一般社団法人SVJ 理事長 山田 幸雄

SVJ Siegerschau

SVJ 発足記念展覧会が盛大に開催される

WUSVシンポジウム翌日の2月23日(日) 空気は冷たいものの快晴の中で、ダイヤモンド滋賀ホテル施設内のサッカーグラウンドにおいて、ドイツシェパード犬を愛する愛犬家・訓練士が全国から参加して、SVJジージャー展が盛大に開催された。締切り時点で72頭の申込みがあったが、ヘンケ会長が憤慨した妨害工作によって締切り後に11頭がキャンセル。それでも61頭(理由のある欠席5) 実数56頭。長毛クラスなしと幼Cクラスは2頭のみということを考えれば、近年の展覧会としては上々の出陳頭数と言えるだろう。

これがSV審査だ！

全クラス全犬を審査したSVフェッテン審査員は「スムーズ、的確、丁寧、一頭一頭に説得力のある講評」の三拍子も四拍子も揃ったスーパージャudgingで、分刻みの主催者作成のスケジュールをSVJ山田哲也審査員とともに完璧にこなした。特に成績末尾の犬に対してはなぜ今日はこの席次(評価)なのかを丁寧に説明。早くもリンクサイドからは次回もフェッテン審査員でとのリクエストがあったが、フェッテン氏は今年70歳で(とても70には見えない) 12月31日でSV審査員の職務は定年となる。ちなみにフェッテン氏は今年が最後ということでSVジージャー展での若犬牡クラスを含むドイツ国内と世界中で46回! 審査をするのだそうである(今年の週末は52回。日本に来る前週はスペイン、前々週はマレーシアで審査!)。

効率の良い一審制

スケジュール通り8時半から幼C牝組より一審制で開始された(一審制は審査が省略されると勘違いする人がいるが、二審制と全く同じ。個体審査と比較審査の間に時間を設けないだけ。少ない頭数なのに大勢の審査員で二審制にすると展覧会というイベントが間延びしてしまうし、時間のロスも多い。ドイツでもSVジージャー展以外は、ランダ展でも1名ないしは2名の審査員での一審制であり、SVJ主催の展覧会は今後基本的に一審制で開催されるとのこと)。幼C牝はグレース von キョートマスタ(京都・大畑恵美子さん愛犬)、幼Bクラスは牝がナターシャ(東京・小林龍彦氏繁殖・愛犬)、8頭が出場したB牡はニコール(静岡・稲葉清志氏愛犬)のいずれもリュウタチカワワイルドの繁殖犬が制した。幼Aクラスにおいても牝はライカ(東京・小林龍彦氏繁殖・愛犬)、A牡はマリオ(神奈川・井上和政氏愛犬)の幼Bクラスに続いて牝牡ともにリュウタチカワワイルドの繁殖犬が制した。この1年未満のクラスには幼犬専用の評価があって、日本では幼犬クラスでもSGやGの評価を与えているが、それはSVの規定違反となり、今後は幼犬クラスにはvv、v、wvという評価が用いられるとのこと(展覧会評価とTSB評価はSVJホームページ www.wusv.jp のアーカイブで詳しく紹介されています)。6頭が出場した若犬牝はパルメ v.d.ワルドグラベン(兵庫・鳥生清哉氏愛犬)、若犬牡はヴィクトール v.d.ハウメイフルス(福岡・高岡政義氏愛犬)が1席を獲得し、若犬クラスからは単独のタイトルが与えられた。

SVスタイルでの防衛



午前中は幼C組から若犬牡組までが審査され、お昼休みにはホテルの調理人が会場横で暖かいカレーを展覧会の全参加者に振舞った。そしてリンク横のサッカーグラウンド半面を使用したSVスタイルで、成犬クラス牡牝全犬の防衛(TSB)が、大勢のギャラリーと、ヘンケ会長、ルックス事務総長も見守る中で、2011年WUSV韓国アジアジージャー展でも防衛を担当した、アジア唯一のSV訓練審査員益田氏によって審査され、評価講評もSVスタイルにて1頭ごとに直ちにマイクで発表された。

防衛が終了した後は、未成犬牝から審査が再開された。7頭が出場の未成犬牝は、逆転でフィナ vom カワシリマルフジソウ(静岡・大石俊雄氏愛犬)、未成犬牡はニコ v.d.ヴァルトグラベン(兵庫・鳥生清哉氏愛犬)がそれぞれ単独1席を獲得。

S犬新時代の記念すべき展覧会で牡二頭牝二頭が本物の“VA”に輝く！！

成牝はアニー、成牡はアトスが単独VA1席を獲得！

最多の11頭が出場した成犬牝クラスは、ピックアップでは5番手だったアニーv.d.シュロスブリュンネン(東京・小林龍彦氏愛犬)が、抜群の歩容で順位をどんどん上げ、最終盤のノーロープ歩行の場面で、それまでトップだったクヴェナ vom ヒューネグループ(奈良・楠和歌子さん愛犬)を逆転で制して単独VA1席に輝いた。クヴェナ vom ヒューネグループも最後に逆転はされたもののVAの称号を獲得し、記念のウイニングランの後、両犬はヨーロッパから輸入されたクリスタルのVAカップを、ヘンケ会長とルックス事務総長より贈呈された。メインイベントの成犬牡クラスには7頭が出場。2013年のSVジージャー展で直仔が上位入賞(未牡でPatmisandがSG5席、若牡ではDesperadosがSG2席等)して、ナッハコメンで大絶賛されたアトス aus アグリгент(愛知・山田久任子さん愛犬)が、取扱の柿木訓

練士との抜群の防衛と貫禄の走りを見せて、終始トップの座を譲ることなく単独VA1席に。続くVA2席にはフェッテン審査員が「この犬はドイツで生まれたのか？」と確認するくらいドイツ産と比べてもなんら見劣りしない、ナップ vom ヴォールスタント（東京・大日方健司氏愛犬）が選出され、牝クラス同様にウイニングランの後にクリスタルのVAカップが、ヘンケ会長とルックス事務総長より贈呈された。

新たなるS犬の歴史にレジェンドが刻まれた日

温泉付の豪華ホテルに特別料金で宿泊して、翌日、歩いて行ける展覧会場。広告のない目録。出場頭数から割り出された分単位の完璧な進行。出陳全犬に世界中で通用するSV審査員署名入りの展覧会評価証明書の発行（SVが発行しているものに日本語訳が書き加えられたもの。将来はこれがないと繁殖ができない！）。トロフィーやロゼットに代わってメダルの授与。数々の改革をまるでマジックのようにやってのけたSVJ。参加者に「とても勉強になった楽しい展覧会」と言わせしめたSIEGERSCHAU（ジージャーショー）は大成功のレジェンドを刻んだ。

2014 SVJ Siegerschau 成績

全クラス/審査員：HP・フェッテン（SV）副審：山田哲也（SVJ）

| | | |
|---------------|------------------------|------------|
| ◎成犬牡組（申8・出7頭） | | |
| 単独VA1 | アトス aus アグリгент | 所：山田久任子 愛知 |
| VA2 | ナップ vom ヴォールスタント | 所：大日方健司 東京 |
| V1 | ジャステス of リュウタチカワワイルド | 所：白石幸豊 神奈川 |
| V2 | ラトヴィン von ハカタカキノキ | 所：角南富美恵 岡山 |
| V3 | シャノ vom ヴィンロー | 所：吉本教治 兵庫 |
| SG1 | ウィル v.H シホ | 所：大畑恵美子 京都 |
| G1 | エテルナルーバンク of セイクレッドウルフ | 所：船津雅幸 静岡 |
| ◎成犬牝組（申・出11頭） | | |
| 単独VA1 | アニー-v.d.シュロスブリュンネン | 所：小林龍彦 東京 |
| VA2 | クヴィーナ vom ヒューネグラープ | 所：楠 和歌子 奈良 |
| V1 | ブレンダ von シェーンハイトゼー | 所：名倉克己 静岡 |
| V2 | アリエル von タックル | 所：吉本教治 兵庫 |
| V3 | ゼバルダ v.ハカタカキノキ | 所：山田久任子 愛知 |
| V4 | マミー-v.d.ロードデンドロン | 所：鳥巢要道 福岡 |
| V5 | カーリン von ドルフェリッヒ | 所：折笠正美 東京 |
| V6 | トニー-von ウーファ727 | 所：河村満弘 大阪 |
| V7 | ケニー-of ホークウィングヨーコ | 所：名倉克己 静岡 |
| SG1 | ニンジャ von キョートマスタ | 所：森 慶子 滋賀 |
| SG2 | ウルメ vom ヒューガイワキリソウ | 所：角南富美恵 岡山 |
| ◎未成牡組（申・出2頭） | | |
| 単独SG1 | ニコ-v.d.ヴァルトグラーベン | 所：鳥生清哉 兵庫 |
| SG2 | ダーク von ミヤザキシモダ | 所：齋藤 孝 愛知 |
| ◎未成牝組（申・出7頭） | | |
| 単独SG1 | フィナ vom カワシリマルフジソウ | 所：大石俊雄 静岡 |
| SG2 | ウルマ v.d.ハウメイフルス | 所：山田一美 三重 |
| SG3 | ベティ v.d.シュロスブリュンネン | 所：山田久任子 愛知 |
| SG4 | ゲルマ vom グロースゾンネ | 所：大日方健司 東京 |
| SG5 | リンカ von ビルダー | 所：森原国雄 山口 |
| SG6 | デイジー-von シェーンハイトゼー | 所：名倉克己 静岡 |
| SG7 | ジェラン of リュウタチカワワイルド | 所：田口幸由 神奈川 |
| ◎若犬牡組（申・出2頭） | | |
| 単独SG1 | ヴィクトール v.d.ハウメイフルス | 所：高岡政義 福岡 |
| SG2 | パクロス vom シュテアーアウフメンヒェン | 所：服部富雄 三重 |
| ◎若犬牝組（申7・出6頭） | | |
| 単独SG1 | パルメ v.d.ワルドグラーベン | 所：鳥生清哉 兵庫 |
| SG2 | フィナ v.H.ミネコ | 所：萩原佑二郎 静岡 |
| SG3 | ファーナ v.d.ハウメイフルス | 所：高岡政義 福岡 |
| SG4 | ザーガ von ビゼンヒュッテ | 所：森原国雄 山口 |

| | | |
|---------------|----------------------|------------|
| SG5 | リリーvon ビゼンヒュッテ | 所：岩本茂信 兵庫 |
| SG6 | マーヤ von サクシュウムサシ | 所：河部知己 岡山 |
| ◎幼A牡組（申・出3頭） | | |
| vv1 | マリオ of リュウタチカワワイルド | 所：井上和政 神奈川 |
| vv2 | ミシュラン of リュウタチカワワイルド | 所：笠原江利 神奈川 |
| vv3 | ユンゴ v.H.バンモ | 所：阪本成徳 岡山 |
| ◎幼A牝組（申・出5頭） | | |
| vv1 | ライカ of リュウタチカワワイルド | 所：小林龍彦 東京 |
| vv2 | フォーラ von ウーファ727 | 所：宮本幸春 熊本 |
| vv3 | フレア von シェーンハイトゼー | 所：名倉克己 静岡 |
| vv4 | ユリーvon ライヒャーベルク | 所：齋藤 孝 愛知 |
| vv5 | ノルネ von サクシュウムサシ | 所：河部知己 岡山 |
| ◎幼B牡組（申9・出8頭） | | |
| vv1 | ニコール of リュウタチカワワイルド | 所：稲葉清志 静岡 |
| vv2 | クアトロ vom シュテアウフメンヒェン | 所：岸 勝驥 三重 |
| vv3 | ニコラス of リュウタチカワワイルド | 所：小林龍彦 東京 |
| vv4 | ネグス of リュウタチカワワイルド | 所：田口幸由 神奈川 |
| vv5 | アマラーvon オーサカトリウ | 所：鳥生清哉 兵庫 |
| vv6 | ナローof リュウタチカワワイルド | 所：小林龍彦 東京 |
| v1 | G-ロルフ of セイクレットウルフ | 所：木川武光 静岡 |
| v2 | G-ドラック of セイクレットウルフ | 所：木川武光 静岡 |
| ◎幼B牝組（申4・出3頭） | | |
| vv1 | ナターシャ of リュウタチカワワイルド | 所：小林龍彦 東京 |
| vv2 | ノア of リュウタチカワワイルド | 所：笠原江利 神奈川 |
| v3 | G-レア of セイクレットウルフ | 所：木川武光 静岡 |
| ◎幼C牡組（申1頭） 欠席 | | |
| ◎幼C牝組（申・出2頭） | | |
| vv1 | グレース von キョートマスダ | 所：大畑恵美子 京都 |
| vv2 | デイジーvon オーサカトリウ | 所：鳥生清哉 兵庫 |